

『議員定数のあり方』を検討

音更町議会・芽室町議会との意見交換会

議会運営委員会では「議員定数のあり方」について、平成29年3月頃をめどに結論を出すように検討しており、5月25日に音更町、6月24日に芽室町を訪問し、意見交換を行った。

【音更町議会】 音更町議会が平成

27年の町議会議員選挙から定数2減の20人にした検討経過や、定数減になったことによる影響などについて意見交換を行った。

定数減ありきではなく、選挙に出やすい環境を含めて議論した結果、定数減になったことや、定数減による大きな変化はないものの、委員会審議などを考えると、これ以上の人数減はできないなどの意見をいただいた。



音更町役場4階特別会議室での意見交換の様子



芽室町役場3階本会議場での意見交換の様子

【芽室町議会】 芽室町議会が平成27年5月から常任委員会数を3から2に減らしたことによる経過や影響などについて意見交換を行った。

平成23年の改選時に定数2減の16人となり、5人で3常任委員会（議長除く）を維持していたが、委員長を除く委員4人では議論が活発化しなかったことなどから、2委員会の形をとった。2委員会になったことにより、議員の活動時間が増えており、ある程度の議員数は必要であるなどの意見をいただいた。

全道議員研修会（7/5） 先進地視察調査（7/6）

北海道町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が、平成28年7月5日に札幌コンベンションセンターで開催され、「ひとを動かし、まちを動かす」と題して、立正大学客員教授の高野誠鮮氏、「日本の行方」政局・政治展望」と題して、東京新聞・中日新聞論説副主幹の長谷川幸洋氏の講演が行われた。

翌日の7月6日には石狩市議会と公益財団法人北海道健康づくり財団（札幌市）を訪問し、先進地視察を行った。議員報酬や定数のあり方に対する検討状況や昨年10月から町が委託している高齢者緊急通報システム事業などを調査した。



上：議員研修会 下：健康づくり財団視察

熊本地震へ義援金

幕別町議員会（千葉幹雄会長）は、熊本地震の被災者に日本赤十字幕別分区を通じて、義援金20万円を送りました。

被災された熊本県民の皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

オリンピック出場決定

幕別町議員会は、リオデジャネイロオリンピックに出場する福島千里選手（陸上女子短距離）・山本幸平選手（マウンテンバイク）・桑井亜乃選手（女子7人制ラグビー）に、活躍を祈念して祝い金を千葉議員会長と芳滝議長より贈呈しました。

一桑井選手



（右から2番目から順に）福島さん山本さんのご両親